

Good News

発行 / 恵みキリスト教会函館

〒041-0806

函館市美原1丁目15-6 桂ビル3F

Tel. 080-8299-6151

E-mail grace.hakodate@gmail.com

<https://grace-church.or.jp/hako/>

揺るがない安らぎ

新型コロナウイルスによって…

2020年初頭、新型コロナウイルスによって世界は揺るがされました。未知のウイルスがもたらしたものは、感染の恐怖と経済的損失だけではありません。先行きの見えない不安と、大きく変えられた日常生活のストレスが人々を苦しめています。さらに、その生活不安とストレスが、感染者への差別、DVや虐待などの家族への暴力、「自粛警察」問題に見られるような極端な正義となって形に現れています。それまで、当たり前だと思っていた日常の安らぎが、ウイルスによって揺るがされてしまったのです。

不安と孤独の中で

聖書に、このような記事があります。

『十一年の間、ながち長血をわずらい、医者たちに財産すべてを費やしたのに、だれにも治してもらえなかった女の人がいた。

女はイエスのうしろから近づいて、その衣きぬの房ほらに触れた。すると、ただちに出血が止まった。

イエスは、「わたしにさわったのは、だれですか」と言われた。みな自分ではないと言ったので、ペテロは、「先生。大勢

の人たちが、あなたを囲んで押し合っています」と言った。しかし、イエスは言われた。「だれかがわたしにさわりました。わたし自身、自分から力が出ていくのを感じました。」

彼女は隠しきれないと知って、震えながら進み出て御前にひれ伏し、イエスにさわった理由と、ただちに癒やされた次第を、すべての民の前で話した。イエスは彼女に言われた。「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。』(聖書)

この若い女性(娘)は12年の間、病気を抱えていました。「長血」というのは、婦人病の一種で、女性器から血の漏出と痛みが続く病気の事です。当時のユダヤ人社会では、血の漏出がある者は汚れた者とみなされ、その人が触れたものも汚れるとされています。ですから、彼女は病のため働くこともできず、社会からも隔離

され、全財産も失ってしまいました。病の痛みだけでなく、不安、孤独、悲しみが彼女を苦しめたのです。



暗やみから光へ

ある日、彼女の耳に、イエス・キリストというお方が、近くに来てくれるという噂が入りました。イエス様は、当時、ご自身ご神であることの証拠として、多くの人の病を癒していました。

彼女は、イエス様なら治してくださると思いました。しかし、自分分は汚れています。向かい合って直接お願いすることもできません。そこで、そつと後ろから忍び寄り、着物の房にでも触ろうと考えました。そして、それは見事に成功しました。その途端、彼女の大病は癒され、社会に復帰することができるようになりました。

病の癒し以上に大切なこと

しかし、イエス様はこの女性に病が癒されたこと以上に大切なことを伝えようと思われました。そこで、女性のことを知りながら、あえてご自分に触った人が誰なのかを問われ、この女性を群衆の中から導き出したのです。

イエス様は病が癒された女性に『あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい』と言われました。この「救う」という言葉は、聖書で「罪のさばきから救う」という意味で用いられています。

この「救い」こそ、イエス様が最もこの女性に伝えたかったメッセージなのです。それはまた、あなたへのメッセージでもあります。



あなたを救うために

いのちを捨てたイエス様

『キリスト・イエスは罪人を救うために世に來られた』ということばは真実であり、そのまま受け入れるに値するものです。』

これは聖書のことばです。イエス様は、万物を創造された神でありながら、二千年前に人となつてこの地上に來られました。その目的は、『罪人を救う』ためだったのです。

罪人(つみびと)というのは、犯罪を犯した人のことではありません。実は、私たちのことなのです。聖書は『すべての人が罪を犯した』と言っています。罪とは、万物を創造された神様を無視したり、殺意やねたみ、不品行などの悪い思いを抱いたり、その悪を実際に行うことです。罪人には『一度死ぬこ



とと死後にさばきを受けることが定まっている』と聖書は言っています。

イエス様は、この死後のさばき（地獄）から私たちを救うために、この世にいられたのです。

イエス様に罪はありませんでした。しかし、私たちの罪をすべて背負い、自ら十字架でいのちをお捨てになりました。それは、私たちが本来受けるべき罪の刑罰を、身代わりを受けてくださるためでした。

『（キリストは）自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。』（聖書）

イエス様は死後、墓に葬られて、三日目によみがえられました。ご自身が神であり、この救いが神からのものであることを証明されたのです。

誰でも、神様の前に自分の罪を認め、イエス様を地獄から救ってくださいるお方と心から信じるなら、罪がすべて赦され、永遠の天国に入ることができるようなのです。『あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。』



あなたへの愛

イエス様の十字架の犠牲は、あなたを造られた神様が、あなたを愛しておられる証拠です。

イエス様の十字架の死と復活は決して空想話ではありません。二千年前にイスラエルで起きた歴史的事実です。ですから、私たちがその事実を目をとめる時、神様が確かにおられ、私を愛しておられることを知ることができます。

イエス様は、あなたが救われるのを、今も忍耐をもって待っておられるのです。

本当の安らぎとは？

「死後のことより、今の生活苦を何とかして！」と思うかもしれませんが、それも必要です。

でも、違った視点から考えてみてください。生活の改善から得られる安らぎが、本当の安らぎなのでしょうか？



今回の新型コロナウイルス問題の中で、どんな環境にある方も、心に不安を抱えています。頼りにしている人や会社を失うことさえ起きています。私たちが取り巻く環境は常に変わるのです。

もし、イエス様が、あの長血の女性の病を癒し孤独から解放させたただけだったらどうでしょうか？彼女の心の罪の問題と死後に対する不安は、その後も残ったままです。しかし、彼女はイエス

様を信じ、神様に愛され、永遠の天国へ向かっているという、揺るがない安らぎを手にしたのです。

『わたしはあなたに平安を残します。わたしの平安を与えます。わたしは、世が与えるのと同じようには与えません。』（聖書）



罪を救し、天国へ入れてくださるのは神であるイエス・キリスト様にしかできません。イエス様が与えてくださる平安は、この世が与えることのできない安らぎなのです。

あなたもイエス様を信じ、揺るがない安らぎを手にしませんか？

イエス様と出会って

(三十代・男性クリスチャン)

「死んだら人はどうなるのだろうか?」「消えて真っ暗になって、全てが無くなってしまふのだろうか?」「それともエンマ様の裁判が始まって、天国や地獄に行くことになるのだろうか?」「みんな一生懸命勉強しているけど、明日死んだら意味なんかないだろう。」「私は、よくそんなことを考えていた子供でした。大人になってからも疑問は解けるわけもなく、「もし今、事故にあつて死んだらどうなるんだろう?」そんな想いばかりが頭を取り巻き、常に心には安らぎがありませんでした。」

答えを見つげるため、色々な宗教の本を買いあさり、調べたこともありました。ヒンドゥー教の教えに共感し、輪廻転生を本気で信じていた時期もありました。また死後の世界とつながることができるといふ人に、高いお金を払って会いに行つたこともありました。ですが何をしようか、何を聞こうか、心の中から死の恐怖という名の得体の知れないものがなくなることはありませんでした。

そんなある日、一冊の本と出会つたのです。それが聖書です。分厚い聖書には難しいことも書いてありましたが、私は近所の教会に行き、牧師先生の助けを借りて聖書の通読を始めました。私は、聖書から、イエス・キリストという生けるまことの神様が、実在することを知りました。しかも、そのお方を信じる者には、永遠のいのちが与えられると書いてあるのです!

私の長年の謎は、この瞬間に解決してしまいました。あれだけ求めても、求めても得ることのできなかつた本当の安らぎを、いとも簡単に手にすることができたのです。なんとというあっけない幕切れでしょう!私が生涯戦い続けた死の恐怖との戦いは、イエス・キリストを信じるることによって、一瞬にして終わりを迎えたのです。

聖書を学んでみませんか?

- ・私どもの教会では、聖書入門講座を開いています。
- ・聖書に興味のある方や、以前に読んだことがあるけれど分からなかったという方、聖書から生きるヒントを得たい方にお勧めです。
- ・教会での対話形式はもちろん(ウイルス感染防止策に準じます)、ZOOMやLINE、メール、郵送からご都合の良い方法を選べます。聖書がなくても大丈夫です。
- ・詳しくは、下記までお問合せください。

恵みキリスト教会函館

Grace Church Hakodate

〒041-0806

函館市美原1丁目15-6 桂ビル3F

函館バス亀田支所下車、徒歩2分
道道347号線沿い・スシローさん近く

Tel. 080-8299-6151

E-mail grace.hakodate@gmail.com

<https://grace-church.or.jp/hako/>

(礼拝のご案内はホームページからご覧いただけます。)



LINE



教会HP

聖書

まめ知識①

聖書は神のことばである

← その理由

- ① 奇跡と復活をもって自身が神であることを証明したキリストが、聖書は神のことばだと言った。
- ② 聖書は約1600年間にわたり、時代も職業も違う約40人の著者たちによって書かれた文書の集合体。だが全てが調和し一貫している。
- ③ 未来について書かれた預言がすべて、その通りになった。キリストについての預言だけで350以上!
- ④ 地球の形や自転など、書かれてから何千年後にならなければわからない科学的事実に触れている。
- ⑤ 全廃運動など激しい攻撃を幾度も受けたが、今なお世界中で読み継がれている。
- ⑥ 聖書を信じて生きた人たちは、聖書のことばが言う通りの希望と平安に満ちた人生を送った。
- ⑦ 聖書そのものが神のことばと主張している。